

平成26年度当初予算要求のポイント(農政部)

産業としての農業の振興と暮らしの場としての農村の創造に向け以下の施策に重点的に取り組みます。

1 夢ある農業を实践する経営体の育成

持続的な農業構造とするため、次代の信州農業を担う意欲ある若者の誘致と、高い技術と経営力を持つ企業的な農業経営体や組織経営体の育成を進めます。

○ 農業で夢をかなえる支援事業(11億9,462万7千円) <農村振興課>

「日本一就農しやすい長野県」の実現のため、新規就農者の誘致拡大に取り組むとともに、就農希望者や農業後継者の相談、体験・研修、就農後の経営発展に向けた支援を体系的に実施

- ・農業リーダー育成事業
- ・就農サポート事業
- ・新規就農里親支援事業
- ・農業大学校研修事業

[新規就農者数(40歳未満) 250人(H26)]

○ 人と農地を明日へつなぐ支援事業(4億6,866万4千円) <農村振興課>

地域農業の持続的発展を図るため、地域の中心となる農業経営体の育成を促進するとともに、農地の集積・有効利用を支援

- ・経営体育成支援事業
- ・人・農地プラン総合対策事業
- ・遊休農地活用総合対策事業

[法人化した経営体数:809法人(H24)→830法人(H26)]

[企業的経営体へ発展させる経営体数:7,708経営体(H24)→8,400経営体(H26)]

○ 農業大学校改革推進事業(13億6,457万円) <農業技術課><農村振興課>

将来の本県農業を担う企業的農業経営者の育成など、人材育成機能の一層の充実を図るため、「実践経営者コース」の新設、外部講師の登用等によるカリキュラムの充実及び教育施設等を整備

- ・㊦教育内容充実強化事業
- ・教育施設等整備事業

[農学部卒業生就農率:42%(H24)→45%(H26)]

2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

競争力の高い農畜産物を供給するため、豊かな自然環境を活かしつつ、消費者の要望に対応した農畜産物の生産を進めるとともに、安全・安心を確保します。

- 需要対応穀物生産強化事業（5億5,738万8千円） <農業技術課>
需要に応じた米・麦等の穀物生産を進めるため、共同利用施設への助成を行い、生産性の向上や品質の安定化を図るとともに、生産体制の強化を図るための技術研修会や講習会を開催
 - ・需要対応穀物地域体制整備事業
 - ・産地モニタリング事業
 - ・県推進事業[実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積：813ha(H25)→1,016ha(H26)]

- 需要に応える園芸産地育成事業（4,350万円） <園芸畜産課>
自信と誇りの持てる園芸作物の生産を推進するため、販売力の高い品種の産地化や実需者要望の高い時期の出荷量拡大など、需要に応える新たな産地の育成を進めるとともに、県オリジナル品種や施設化の導入を支援
 - ・新たな産地を築く園芸品目振興プロジェクト事業
 - ・マーケット需要対応力・収益力強化事業
 - ・園芸産地継承支援事業[県オリジナル新品種なし「サザンスイート」産地を早期育成するためのモデル園の設置：10ヵ所(H26)]
[アスパラガス4～5月どり新産地の早期育成のための1年生大苗新植面積：8ha(H26)]
[トルコギキョウ秋出荷産地育成のためのモデルほ場の設置：2地域(H26)]

- 園芸産地強化対策整備事業（10億1,748万5千円） <園芸畜産課>
園芸産地の競争力強化のため、意欲ある産地が品質向上や流通コストの低減、産地収益力の向上のために取組む、野菜や果樹の集出荷貯蔵施設・加工施設の整備を支援
[共同利用施設の整備：5ヵ所(H26)]

- 野菜等価格安定対策事業（3億9,579万2千円） <園芸畜産課>
農業者の経営安定と野菜等の安定供給を図るため、価格低落時に価格差補給金等を交付するための資金造成を支援

- ワイン生産アカデミー事業（92万7千円） <園芸畜産課>
県内でワイン用ぶどう栽培やワイナリーの起業を目指す意欲ある新規参入希望者を支援するため、栽培・醸造・経営等に係る基本的な知識・技術を習得する講座「ワイン生産アカデミー」を開講
[受講者のうちワイナリーの起業を目指す就農者数：5名(H29目標)]

- 自給飼料増産対策事業（289万円） ＜園芸畜産課＞
- 輸入飼料に依存しすぎない畜産経営を確立するため、全県的な自給飼料増産推進協議会の設置とともに、栽培意欲の高い畜産農家への農地の集積や、県オリジナル品種の導入等により、栄養価の高い良質な自給飼料の生産拡大を促進
- ・自給飼料増産推進協議会の設置
 - ・県オリジナル飼料作物モデルほ場の設置
 - ・自給飼料栽培指導員及び飼料づくりコーディネーターの設置
 - ・飼料づくり地区部会の設置
- [モデルほ場の設置：4箇所(H26)]
 [県オリジナル品種の作付拡大：30ha(H26)]
 [飼料稲の作付拡大：20ha 増加(H26)]
-
- 新** ○ 酪農生産性向上対策事業（389万3千円） ＜園芸畜産課＞
- より生産性の高い酪農経営への移行を促進するため、酪農家全戸の生乳細菌検査による乳質の向上や、牛の健康診断に基づく飼養管理改善などを実施
- [乳質評価が標準以上の農家率：71%(H25)→74% (H26)]
 [牛群ドックによる牛群健康状態の改善農家率：80%(H26)]
-
- 環境にやさしい農業総合対策事業（936万3千円） ＜農業技術課＞
- 環境と調和のとれた農業を促進するため、信州の環境にやさしい農産物認証等への取組の面的拡大を図るとともに、GAP（農業生産工程管理）の推進及び有機農業に取り組む農業者を支援
- [信州の環境にやさしい農産物認証面積：1,563ha(H25)→1,780ha(H26)]
 [生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合：18%(H25)→23%(H26)]
 [講座参加者が有機農業に取り組む割合：25% (H25) →25%以上 (H26)]
-
- 農畜産物等放射性物質検査事業（1,139万円） ＜農業政策課＞＜園芸畜産課＞
- 県産農産物等の安全・安心を確保するため、引き続き農畜産物等の放射性物質検査を実施
-
- 補助公共事業（120億1,066万3千円） ＜農地整備課＞
-
- 県単独公共事業（3億564万5千円） ＜農地整備課＞

3 信州ブランドの確立とマーケットの創出

信州農畜産物の付加価値向上と消費拡大を図るため、戦略的なマーケティングや発信力向上によるブランド化と販路拡大、6次産業化及び他産業との連携を進めます。

○ 信州農産物マーケティング戦略推進事業（3,044万1千円）

＜農業政策課農産物マーケティング室＞

県産農産物の販路開拓・販路拡大を図るため、国内外でのマーケティング調査や海外商談会開催などの取組を支援

[農産物の目標輸出額：りんご 1,100万円（H25）→1,650万円（H26）

米 500万円（H25）→1,500万円（H26）]

[新たな販路開拓件数：15件（H26）]

○ 「おいしい信州ふード（風土）」プロジェクト推進事業（7,627万7千円）

＜農業政策課農産物マーケティング室＞

「おいしい信州ふード（風土）」の認知度向上と消費拡大のため、地域ぐるみで「足元の価値」を見つめ直し、地域の「おいしい信州ふード（風土）」にまつわる「物語」を作成し、県民の皆様と共有・発信

- ・「おいしい信州ふード（風土）」PRの推進
- ・「おいしい信州ふード（風土）」大使と生産者、実需者、消費者等との交流
- ・㊦「おいしい信州ふード（風土）」物語づくり（共有・発信活動の支援）
- ・県外トップセールス、商談会の開催
- ・㊦スマートフォン向けアプリケーションの開発

[「おいしい信州ふード（風土）」の県民認知度：40%（H25）→60%（H26）]

[「おいしい信州ふード（風土）」SHOPの登録：100店舗（H25）→400店舗（H26）]

○ 夢をかなえる信州農業6次産業化推進事業（2億470万円）

＜農業政策課農産物マーケティング室＞

自然豊かな本県の地域特性を活かし、多様な6次産業化の取組を促進するため、施設整備への支援や信州6次産業化推進協議会による一貫した事業化への支援を実施

[総合化事業計画の認定件数：67件（H25）→90件（H26）]

4 農村コミュニティの維持・構築

農村集落の活力を高めるため、持続的な農業生産の確保及び都市部住民等との結びつきによる農村資源の活用と農業・農村の持つ多面的機能の維持を進めます。

○ 中山間地域農業直接支払事業（12億5,662万6千円）

＜農村振興課＞


中山間地域において、農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、集落内での話し合いに基づく自律的・継続的な耕作や農道の維持・管理等の取組を支援

[協定面積：9,907ha（H25）→9,952ha（H26）]

○ 農村交流活性化支援事業（7,013万9千円）

＜農業政策課農産物マーケティング室＞

都市農村交流の促進を通じて農山村地域の活性化を図るため、都市農村交流施設等の整備を支援するとともに、県内のグリーン・ツーリズムの情報を集約し、統一的に発信

- ・やすらぎ空間整備事業
- ・都市農村共生・対流総合対策事業

[都市農村交流人口：577,478人（H24）→578,000人以上（H26）]

○ 農業大学校改革推進事業（農ある暮らし入門研修）（再掲）（58万5千円）

＜農村振興課＞

農ある暮らし志向の高まりを農村地域の活力向上につなげるため、農業に興味を持ち、県内へ移住を希望する者などを対象に、農業に親しむ体験型研修を実施

- ・「農ある暮らし入門研修」の実施

[農ある暮らし入門研修受講生：年間延べ200名（H26）]

○ 山村等振興対策事業（4億2,312万8千円）

＜農村振興課＞

農業の高付加価値化による所得の向上等を通じた農山村地域の振興のため、地域農産物の販売や加工等を行う拠点となる施設の整備や農村コミュニティの活性化につながる生産・交流活動等を支援

- ・山村等振興対策事業交付金
- ・農村活力創出支援事業
- ・農村活性化復興支援事業

[活性化施設の整備：2か所（H25）→4か所（H26）]

[農村コミュニティ活動の支援：10地区（H25）→10地区（H26）]

5 地産地消と食に対する理解・活動の促進

食の大切さや農村の役割についての理解を醸成するため、農業とふれあう機会の創出や県産農畜産物についての情報発信などを進めます。

○ 体験的食育推進事業（303万円）

＜農業政策課農産物マーケティング室＞

農業体験を通じて、食を大切に作る心や働く大切さ、農作業の楽しさなどを学ぶ体験的食育活動を支援するとともに、食育活動を行うボランティアの育成や食育推進リーダーの活動を支援

[食文化や地域の産物を活かし、時には新しい料理を作ることを実践する県民の割合：57.2%（H25）→60%以上（H26）]

○ 「おいしい信州ふード（風土）」プロジェクト推進事業（再掲）


＜農業政策課農産物マーケティング室＞

6 美しい農村の維持・活用

美しい農村を維持するため、地域の共同活動、自然エネルギーの生産・利用及び県民が安心して暮らせる環境整備を進めます。

- 農地・水保全管理支払事業（2億3,130万円） ＜農地整備課＞
農村地域の環境を保全するため、地域ぐるみで行う農道や用排水路等の適切な保全管理のための共同活動及び農業用施設の長寿命化のための向上活動を支援
 - ・共同活動支援交付金
 - ・向上活動支援交付金[農地・水・環境の保全活動実施面積：14,846ha(H25)→14,900ha(H26)]

- 野生鳥獣被害総合対策事業（6億5,821万3千円） ＜農業技術課＞
野生鳥獣による農作物被害を防止するため、被害地域への支援体制を整備し、侵入防止柵の設置や集落ぐるみによる捕獲体制の整備等の被害対策を総合的に支援
[被害対策自立集落率：24%(H25)→28%(H26)]

- 土地改良施設エネルギー活用推進事業（3億2,827万5千円）
（補助公共事業一部再掲）＜農地整備課＞
農山村の多面的機能の発揮や農業水利施設の長寿命化対策のため、土地改良区等が行う農業用水を活用した小水力発電の導入を支援
 - ・小水力発電研修会の開催
 - ・地域の合意形成や管理技術者の育成に対する支援
 - ・発電施設建設モデル事業
 - ・農業用水エネルギー活用事業[農業用水を活用した小水力発電施設の建設促進（着手地区）：1地区(H26)]

- 補助公共事業（再掲） ＜農地整備課＞

- 単独公共事業（再掲） ＜農地整備課＞